

浜田圏域地域医療構想調整会議 議事概要

- 【日時】 令和3年6月17日（木） 19:00～21:00
- 【場所】 浜田合同庁舎 2階 大会議室
- 【出席者】 各医師会長、浜田江津歯科医師会長、島根県薬剤師会各支部長、島根県看護協会浜田支部長、各病院長他、島根県環境保険公社浜田支所長、浜田圏域健康長寿しまね推進会議会長、浜田圏域老人施設協議会会長、各介護支援専門員協会、島根県訪問看護ステーション協会浜田支部長、島根県食品衛生協会浜田支所長、保険者協議会、各消防本部消防庁、住民代表、浜田市長、江津市長、浜田地区・広域行政組合、事務局

【議事内容】

- 1 浜田地域保健医療対策会議設置要綱改正について
- 2 医師確保計画推進事業について
- 3 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための「医療法の一部を改正する法律」について
- 4 島根県保健医療計画（浜田圏域編）の中間見直しについて
- 5 その他

【主な意見・協議結果について】

1. について
 - ・ 構成委員に浜田地区広域行政組合を追加 → 承認
2. について
 - ・ 済生会江津総合病院より令和3年度医師確保計画推進事業計画を説明 → 異議なし、圏域で合意された事業として申請することについて承認
3. について
 - 〈説明〉
 - ・ 法改正の概要は、Ⅰ医師の働き方改革、Ⅱ各医療関係職種の専門性の活用（医師養成課程の見直し）、Ⅲ地域の実情に応じた医療提供体制の確保について、大きく3項目。
 - ・ 新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保に関する事項を、都道府県が作成する「医療計画」の記載事項に追加。8期医療計画から5事業に追加して6事業とすること。
 - ・ 医療機関が都道府県に外来医療の実施状況を報告し、「地域の協議の場」において、外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を進めていくこととなった。

4. について

- ・各項目ごとに資料に沿って説明

〈意見〉

- ・精神科疾患は多様であり領域も広がっているが、関係者と一緒に取り組んでいきたい。
 - ・働き盛りの健康づくりが重要。がん検診では、精密検査の未受診がないように取り組みをしていく必要がある。
 - ・圏域計画は方向性。実際に計画を推進するため実行計画を進めていってほしい。
 - ・重症心障がい児・者支援について確実にしていきたい。その分野の医師、看護師確保が危機的。医療従事者確保を圏域と共同して進めていきたい。
 - ・看護学校の支援では、圏域計画では、圏域内にある浜田医療センター附属看護学校や浜田准看護学校の支援として記入したほうがよい。
 - ・江津市医師会では、H30年度から済生会合津総合病院に委託して「医療連携推進コーディネーター配置事業」を開始し、多職種の事例検討会等を重ね各職種と顔の見える関係作りができています。また、看取り代診医制度を導入し、在宅医の負担軽減につながっている。
 - ・歯科において、多職種連携をし、口腔衛生や誤嚥防止対策は重要な役割だと認識。多職種連携の人材育成で、ケアマネジャー等との勉強会もあり、歯科衛生士の資質向上や顔の見える関係もできた。この取組を継続してほしい。
- 会議後意見あればFAXにて意見を保健所まで提出依頼。
会議当日及び、FAXでの意見を受け、計画浜田圏域編中間見直しの最終修正を加え、県庁に提出する。

5. その他

○本会議の開催について

- ・次回開催は令和4年3月初旬
- ・開催時間は現状とし、方法は希望があればWEB会議の併用を検討する

○「浜田圏域入退院支援マニュアル」「認知症になっても安心して暮らせるために」「ACP＝人生会議って何だろう？」の作成、紹介